

# 協育NEWS

## 「協育」という波紋を拡げます

会報誌第26号

2017年3月10日発行

発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネットワーク

### 会員みなさんへ

#### NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワークの理念

事務局長 安達美和子

第10回地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会で、私たちのNPOの報告をさせていただきました。その資料を作る際に改めて「協育」ネットワークの理念を思い出すことができましたので会員の方々にもご報告します。

1. 今、子どもたちに欠けていると言われていたこと・人間関係力の育成(コミュニケーション能力・耐性・礼儀等)・現代的課題である不登校、いじめ、虐待等への対応による健全な育成
2. 「協育」ネットワークの理念と取組 ①地域にある人的・物的・文化等の教育資源の掘り起こしと整理、ネットワーク化 ②教育の協働を進める中核としての人材であるコーディネーターの育成と協働 ③地域で行われる子ども達への様々な活動や、人材・プログラム等の情報の提供・発信 ④会員及び県内の指導者が地域で行う様々な活動への協力や相互の交流の場を設定
3. 今後の方向性(願い)・会員が情報を共有することによって会員同士が連携、協力して活動を充実します。・地域の仲間とのネットワーク化や活動の協働を進めます。・県および市町村教育委員会と連携した各種研修や活動を進めます。

2日目は、林浩昭委員長に世界農業遺産の説明を伺いながら三浦梅園先生の旧家、参加者の西武蔵地区、小野さんの山(椎茸づくり)、発表者の秀溪園への視察研修でした。今回は10年、20年、30年ぶりの再会、人との繋がりや今も事業が継続していること等を知り、感動する場面がたくさんありました。「地域が大切にしたいもの、残したいものがしっかり受け継がれ継続していく」ことを実感いたしました。次回は、11回になる実践交流会です。ぜひ、事例発表をしませんか。びっぴりするような出会いが待っています。

### 島根県益田市に取材に行ってきました！

#### 第2回 未来を担うひとづくりフォーラム 2017. 1. 28・29

～「ひとが育つ町 ますだ」を実現する「ライフキャリア教育」の推進～



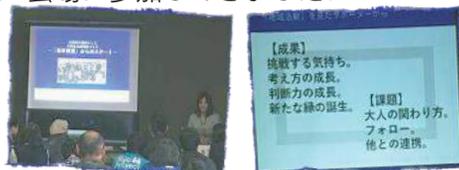
第2回 未来を担うひとづくりフォーラム(益田市)に取材も兼ねて参加して来ました。このフォーラムは～「ひとが育つ町 ますだ」を実現する「ライフキャリア教育」の推進～と銘打ち益田市教育委員会主催の元、市をあげて取り組んでいます。昨年5月に福岡市篠栗で開催された第35回 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会で大畑先生からこのフォーラムのお話を聞いていました。当日は一週間前の大雪も落ち着いて益田市まで車で参加しました。



分科会前のオープニングでは島根県教育魅力化特命官 岩本悠氏が教育魅力化についてお話をいただきました。①魅力ある学びづくり、②魅力ある人づくり、③魅力ある地域づくりを通して遂行していく、その為には 1お客→主体(参加) 2同質→交流(異業種 異年齢)、3 一方向→対話(さまざまなセッション)が大切であると、そして事業・学習における成功のスパイラルは、関係の質を高め、思考の質を上げ、行動の質が変わることによって成果の質に出て来る！目からうろこでございました！(#^.^#)

さて分科会は6事例を2事例×3会場で開催、県内外(大分県立命館アジア太平洋大学も発表)からさまざまな活動発表があり、とほほの一人参加で全ての発表は聞く事が出来ませんでした。協育ネットワーク会員に関連した公民館活動から中学生の居場所作り、NPO活動で人間力育成を目標にした4泊5日100km徒歩の旅(小学校4～6年生100名参加)のB会場に参加してきました。

益田市二条地区公民館では勉強は課題を与えるのではなく子ども達の自主性に任せ見守りのようなやり方、公民館を通じて地域の活動に子ども達を積極的に挑戦させていました。自分たちが暮らす地域・地区の歴史や風習を学ぶ事で興味と愛着を持たせる手法です。子ども達のイキイキとした目が印象的でした。



MP0おのみち寺子屋主催の人間力育成塾(おのみち100km徒歩の旅)では生きる力の育みを目指して自分で課題を見つけ→自ら学び自ら考え→行動する力をつけさせ、100kmを走破する事でたくましく生きるための健康と体力、周りとのコミュニケーション能力も大事なミッションの一つです。これ以外にも・青少年健全育成(体験学習)・生涯学習(生きる力の育み)・市民参加のひとづくり・地域コミュニティの活性化等々 これからの社会情勢に合わせた様々な活動が新鮮でした。

発表の後には5～7人でグループワークです、各グループには2～3名の益田の高校生が参加しています、益田の高校生普段から地域行事などに参加していますので子どもの目線からの地域課題や思ってる事をどんどん発表します。大人では気がつかない事や若い人がどんな考えを持っているかがここで分かるんです。これは同年代だけの話し合いではなかなか気づかない事なんです。(異年齢交流)見るとお父さん世代の参加が少ない(毎日の仕事でなかなか地域活動に参加出来ない?)ですが、高齢者と子どもたちがつながる事でお父さんお母さん世代の地域参加を後押しする事にもなるんじゃないでしょうか・・・協育(家庭・地域・学校)に関わる者として今回の取材がとても有意義で楽しい2日間でした。最後になりましたが会場の駐車場に到着した時に会場整理や案内を手伝って下さる子どもたちの挨拶が元気で気持ちよくて大分からの車の運転の疲れも吹き飛びました！こんな子ども達が育っている益田市いいですね～来年は会員の皆さんと参加したいなと思いました。(広報部上原)

# 会員さんの活動紹介

昨年11月19・20日(土日)に佐伯市で開催された **B-1グランプリinSAIKI 佐伯** 開催を陰から支えた中高生ボランティアの活動報告が届きましたのでご紹介します！

## 《西日本B-1グランプリin佐伯》

佐伯市教育委員会 久々宮 克也

「佐伯の殿様、浦でもつ」と言われた佐伯市がソウルフード「ごまだしうどん」をPRするため「佐伯ごまだしうどん大作戦」を立ち上げたのが平成十九年。メンバーは自動車整備工、主婦、団体職員、建設業など様々で当初から「食を通じて少しでも佐伯を元気に出来たらいいな」との思いで活動している。そこで西日本B-1グランプリの開催が決定された当初から市民全員で「おもてなし」ということで官民あげてPRを行い、特にこれからの佐伯市を担う小中学生、高校生を巻き込むために「出前授業」、高校生への「ふるまい事業」など定期的に事業を開催し周知を図ってきた。いよいよ当日、2日間トータル1,302名(高校生927名、中学生375名)の学生ボランティアの参加があった。会場では各参加団体のグルメを食し、投票を行うだけと思いきや、イベントを盛り上げるための各団体の手の込んだパフォーマンスありで見ているだけでも十分楽しい。



(中高生のおもてなし)



(市内会場のクリーン活動)

さて、私のグループの中学生、高校生はというと積極的に来場者に会場を案内したり、ゴミを受け取ったり、トイレを掃除したりと大忙しで笑顔を絶やすことなく活動していた。そんな彼らを見ていると「相手を喜ばせて、自分もハッピーになりたい」そんな気持ちが自然と伝わり、親心のような気持ちで彼らを見つめていた。またイベント終了後も小学生が地元の食材を使ったメニューを居酒屋に提案したり、商品開発に取組んだり、B-1グランプリの余韻はまだまだ収まりそうになく、市民総参加での西日本B-1グランプリは大成功だったのではと感じている。

## 今年も依頼があり行ってきました 国東市 富来小学校読書バイキング！

学生読み聞かせボランティア 「ゆい(結い)」

2016.12.17



(富来小学校読書バイキング)



(鶴 梨佳さん)



(佐藤 真由美理事)

### 人と本を結ぶ読書支援プロジェクト「ゆい(結い)」

協育ネット理事 佐藤 真由美

昨年末、12月17日に富来小学校(国東市)に学生2名と共に行ってきました。当日は、子どもたちや保護者向けに保護者教師の方々による絵本の群読や司書さんのブックトークなどが行われました。今回3回目となる「ゆい(結い)」に依頼されたテーマは『怖い話』『笑える話』『方言絵本』で、これまで通りのバイキング形式での読み聞かせでした。選書は毎月の勉強会の時間に参加できない学生も一緒に行っています。一冊一冊ページをめくりながら意見を出し合っ、子どもたちの様子を思い浮かべながらの本選びです。外部からの読み聞かせの依頼は、学生読み聞かせボランティア「ゆい(結い)」で受け、彼らに活躍してもらいたいと考えています。引率兼ピンチヒッター役の私が、集中講義が入って行けなくなった学生の代わりに今回も入りましたが、ひとりでも多くの学生が、大好きな本を通じて多くの人とふれあい、さらにそれがささやか地域貢献につながると思っています。子どもたちにとって、年の近い学生の読み聞かせは新鮮らしく、また、保護者の方々は微笑ましく感じてくださいているようです。「毎年楽しみにしている」と言っていた、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

### 参加した学生さんの声



(高木日向子さん)

富来小学校での読書バイキングに絵本の読み手として参加をさせていただきました。「笑える本」「怖い本」「方言の本」という3つのテーマのうち、私は「怖い本」を担当しました。あまり普段読まないジャンルということもあり、本を選ぶ上でかなり難しいテーマでしたが、こちらとしては絵本の楽しさに触れてもらうことが一番の目的だったので、「怖いけど面白い」本を選んで読むことにしました。当日、最初にPTAの方に紹介して頂いた際、「怖い本は嫌だ、怖い！」と言っているお子さんがいたので少し心配しましたが、最後感想を聞くと「怖い話が楽しかった！」と言って、頑張って本を選んで読んだ甲斐があったと思いました。今年は参加者が例年に比べ少なかったようですが、真剣に、時に笑いながら、会話をしながら楽しんで聞いてくださいました。少人数ならではのアットホームな雰囲気、こちらもとても楽しく読むことができました。参加された児童の皆さんが、これをきっかけに絵本をもっと楽しんで読んでくれるようになったら嬉しいです。

## 事務局よりお知らせ

NPO法人大分県協育アドバイザーネット 定期総会

2017年6月10日(土) 14:00~

\* 会員のスキルアップ研修

⇒ 企画会議で思案中、これぞと思われる研修を事務局までに連絡してください。

## 広報部よりお知らせ

翌朝の山陰中央新報に掲載されていきました！

今回参加した分科会発表団体のサイト

益田市二条地区公民館 Facebook

<https://www.facebook.com/nijo2project/>

NPOおのみち寺子屋HP

<http://www.ono-tera.com/>

おのみち100km徒歩の旅【人間力育成塾】Facebook

<https://www.facebook.com/ono100/>

